

平成25年度における運用状況等

(平成25年4月～平成26年3月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っていますが、平成25年度における運用状況が確定しましたので本資料をもってホームページで公表いたします。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させていただいております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様の御理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成25年3月29日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公表するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）における運用環境について	1
2. 平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）におけるポートフォリオ別の運用状況	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
（参考）	
被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移	5
用語の説明	7

1. 平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）における運用環境について

○国内債券・外国債券

国内債券の10年国債利回りは、平成25年4月4日に発表された日銀の「量的・質的金融緩和」を受けて一時史上最低の0.315%まで低下しましたが、第1四半期6月末に0.85%まで上昇する等、乱高下する場面もありました。その後は低下基調で推移したものの、世界的な株高や米国の量的緩和第3弾（QE3）の縮小の決定等を受けて第3四半期12月末に0.74%まで上昇しましたが、その後の世界的な株安債券高等を背景に年度末にかけて低下し0.64%となりました。

また、外国債券の米国10年国債利回りは、QE3の縮小観測等を背景に上昇基調で推移し、世界的な株高やQE3の縮小の決定等を受けて第3四半期12月末に3.03%まで上昇しましたが、その後の世界的な株安債券高等を背景に年度末にかけて低下し2.72%となりました。

○国内株式・外国株式

国内外株式の第1四半期は、日銀の「量的・質的金融緩和」や米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和を継続するとの期待等から大幅に上昇しましたが、5月下旬以降は、FRBのQE3の早期縮小観測等を背景に乱高下する場面もありました。第2四半期は、QE3の縮小観測の動向等による上昇と下落を繰り返しながら、9月末にかけて上昇しました。第3四半期は、米国の債務上限問題を背景に一時下落したものの、11月14日の米国議会公聴会でイエレン次期FRB議長（当時）による金融緩和の継続のスタンスが明確に示されたこと等や12月18日の米国連邦公開市場委員会（FOMC）によるQE3の縮小の決定と併せてゼロ金利を相当な期間維持する旨の指針が発表されたこと等を好感し、一段と上昇しました。第4四半期は、1月下旬のアルゼンチン・ペソの急落を端緒とした新興国の通貨安を嫌気し、リスク回避による売りで株価が大幅に下落しました。なお、その後、国内株式は、ウクライナ情勢の緊迫化等を背景に3月末にかけて下落基調で推移しましたが、外国株式は、米国企業の好決算等を好感し上昇基調で推移しました。

○為替

為替は、日銀の「量的・質的金融緩和」や欧米の長期金利の上昇等を背景に年度初めから円安が進行しました。6月には、国内の長期金利の上昇から一時対ドルで93円台まで円高となる場面もありましたが、その後は、欧米の長期金利の上昇等を背景に年度末にかけて円安傾向に推移し、対ドルで102円99銭、対ユーロで141円94銭となりました。

2. 平成25年度(平成25年4月～平成26年3月)におけるポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成25年度(平成25年4月～平成26年3月)における被保険者及び期待者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成25年度末時価総額は1,974億54百万円となり、平成25年度の総合収益は142億13百万円となりました。また、修正総合利回りは7.75%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成24年度末 時価総額	平成25年度末 時価総額	時価総額構成割合	平成25年度 の総合収益	(参考) 修正総合利回り
国内債券	115,338	135,056	68.4	1,364	1.07
自家運用	56,863	58,877	29.8	727	1.26
外部運用	58,476	76,179	38.6	638	0.91
国内株式	27,698	24,101	12.2	4,492	19.84
外国債券	8,708	10,007	5.1	1,270	14.31
外国株式	26,893	25,902	13.1	7,148	31.91
短期資産	-460	2,388	1.2	-62	-
合 計	178,178	197,454	100.0	14,213	7.75

- (注)
- 国内債券のうち自家運用(満期保有目的)については、償却原価法(定額法)を適用しています。
 - 平成24年度末時価総額は、平成24年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産のマイナス460百万円は、決算整理前の額1,623百万円から被保険者危険準備金ポートフォリオへの繰入額2,082百万円を減算した額です。
 - 平成25年度末時価総額(合計)は、平成24年度末時価総額(合計)178,178百万円に、平成25年度の追加投資額等5,062百万円及び総合収益14,213百万円を加算した額197,454百万円となりました。
 - 短期資産の修正総合利回りの数値は、信託報酬等及び保管・管理手数料等が含まれているため、表示していません。
なお、信託報酬等及び保管・管理手数料等を整理する前の自家運用分の利回りは0.05%、外部運用分の利回りは0.07%となります。
 - 国内株式の資産構成割合が政策アセットミックスの乖離許容幅を超えたため、第2四半期において同割合に戻すリバランスを実施しました。
 - 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(以下同じ。)

(参考)

平成25年度第4四半期(平成26年1月～3月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資 産	平成25年12月末 時価総額	平成25年度末 時価総額	時価総額構成割合	第4四半期 の総合収益	(参考) 修正総合利回り
国内債券	131,157	135,056	68.4	759	0.56
自家運用	55,459	58,877	29.8	172	0.29
外部運用	75,697	76,179	38.6	586	0.77
国内株式	25,234	24,101	12.2	-1,662	-6.57
外国債券	10,045	10,007	5.1	43	0.43
外国株式	26,103	25,902	13.1	-8	-0.03
短期資産	6,089	2,388	1.2	-69	-
合 計	198,628	197,454	100.0	-936	-0.47

- (注) 平成25年度末時価総額(合計)は、平成25年12月末時価総額(合計)198,628百万円に、平成25年度第4四半期の追加投資額等-238百万円及び総合収益-936百万円を加算した額197,454百万円となりました。

② 受給権者ポートフォリオ

平成25年度(平成25年4月～平成26年3月)における受給権者に係る資産状況は、次表のとおりとなっており、年金給付等の原資は確保されています。

(単位:百万円)

資 産	平成24年度末 時価総額	平成25年度末 時価総額
国内債券	19,519	27,169
短期資産	105	539
合 計	19,624	27,708

(注) 平成24年度末時価総額は、平成24年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産の105百万円は、決算整理前の額76百万円に、受給権者危険準備金ポートフォリオからの受入額29百万円を加算した額です。

③ 被保険者危険準備金ポートフォリオ及び受給権者危険準備金ポートフォリオ

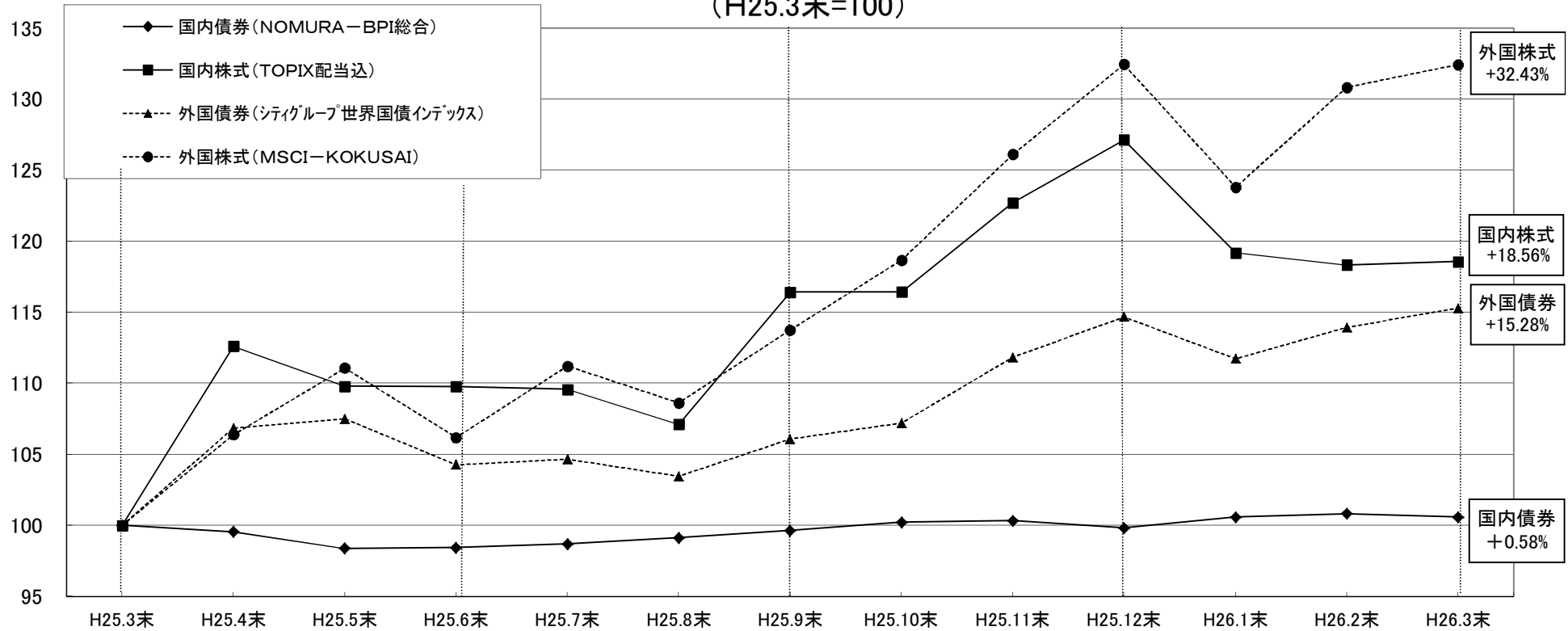
平成25年度(平成25年4月～平成26年3月)における危険準備金に係る資産状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円)

ポートフォリオ	区 分	資 産	平成24年度末 時価総額	平成25年度末 時価総額
被保険者危険準備金 ポートフォリオ	付利準備金	短期資産	2,723	2,730
	調整準備金	短期資産	1,692	1,603
	合 計		4,415	4,334
受給権者危険準備金 ポートフォリオ	調整準備金	短期資産	938	1,155

(注) 平成24年度末時価総額は、平成24年度決算整理後の額となっています。なお、被保険者危険準備金ポートフォリオの短期資産の合計4,415百万円は、決算整理前の合計2,333百万円に、被保険者ポートフォリオからの受入額2,082百万円を加算した額です。また、受給権者危険準備金ポートフォリオの短期資産の938百万円は、決算整理前の額967百万円から受給権者ポートフォリオへの繰入額29百万円を減算した額です。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H25.3末=100)



(参考) 市場インデックス

区分	平成25年3月末	平成25年6月末	平成25年9月末	平成25年12月末	平成26年3月末
国内債券 (新発10年国債利回り)	0.560 %	0.845 %	0.680 %	0.738 %	0.640 %
(NOMURA-BPI総合)	350.764 ポイント	345.262 ポイント	349.462 ポイント	350.094 ポイント	352.801 ポイント
国内株式 (日経225)	12,397.91 円	13,677.32 円	14,455.80 円	16,291.31 円	14,827.83 円
(TOPIX配当込)	1,373.53 ポイント	1,507.70 ポイント	1,598.95 ポイント	1,746.17 ポイント	1,628.52 ポイント
外国債券 (米国10年国債利回り)	1.850 %	2.487 %	2.611 %	3.029 %	2.719 %
(独10年国債利回り)	1.289 %	1.728 %	1.779 %	1.929 %	1.566 %
(シテグループ世界国債インデックス)	359.29 ポイント	374.62 ポイント	381.13 ポイント	412.03 ポイント	414.20 ポイント
外国株式 (NYダウ)	14,578.54 ドル	14,909.60 ドル	15,129.67 ドル	16,576.66 ドル	16,457.66 ドル
(独DAX指数)	7,795.31 ポイント	7,959.22 ポイント	8,594.40 ポイント	9,552.16 ポイント	9,555.91 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	1,567.388 ポイント	1,664.236 ポイント	1,782.954 ポイント	2,075.881 ポイント	2,075.721 ポイント
為替レート (対ドル)	94.02 円	99.34 円	98.12 円	105.11 円	102.99 円
(対ユーロ)	120.73 円	129.12 円	132.83 円	144.83 円	141.94 円

(参考) 被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移

(1) 総合収益の推移

(単位:百万円)

年度	総合収益 (単年度)
平成14年度	-563
15	1,852
16	1,690
17	6,603
18	2,923
19	-5,047
20	-10,765
21	10,849
22	-82
23	3,566
24	15,631
25	14,213

(注)「平成14年度」の計数は、平成14年1月1日から平成15年3月31日までのものです。(以下同じ。)

(2) 運用利回りの推移

年度	修正総合 利回り (単年度)
平成14年度	-4.65%
15	5.99%
16	3.40%
17	9.80%
18	3.27%
19	-4.73%
20	-9.25%
21	9.14%
22	-0.06%
23	2.36%
24	9.62%
25	7.75%

(注)平成14年度からの平均利回りは2.53%です。

(3) 資産別運用利回りの推移

年度	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
平成14年度	2.58%	-28.75%	16.31%	-31.72%
15	-0.08%	48.62%	-1.70%	21.12%
16	1.76%	3.07%	11.42%	14.90%
17	-0.14%	49.88%	7.83%	27.68%
18	1.75%	0.94%	10.62%	17.36%
19	2.42%	-29.59%	0.80%	-18.59%
20	1.53%	-33.61%	-7.44%	-44.90%
21	1.66%	28.45%	0.57%	43.69%
22	1.58%	-8.24%	-5.78%	2.78%
23	2.12%	2.47%	5.07%	2.87%
24	2.57%	24.62%	16.73%	28.06%
25	1.07%	19.84%	14.31%	31.91%

【参考】

平成25年度の各四半期の総合収益及び修正総合利回りの推移

(単位:百万円)

区 分	総合収益	修正総合 利回り
第1四半期	3,947	2.19%
第2四半期	4,351	2.35%
第3四半期	6,851	3.63%
第4四半期	-936	-0.47%
通期	14,213	7.75%

(4) 年度末時価総額の推移

(単位:百万円)

年度	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		短期資産		合計
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	
平成14年度	15,485	67.5%	3,169	13.8%	1,225	5.3%	1,639	7.1%	1,434	6.3%	22,948
15	33,240	78.5%	4,166	9.8%	1,935	4.6%	1,555	3.7%	1,438	3.4%	42,335
16	43,270	71.6%	9,081	15.0%	2,192	3.6%	5,765	9.5%	121	0.2%	60,430
17	57,192	69.2%	14,581	17.6%	2,510	3.0%	8,219	9.9%	117	0.1%	82,619
18	72,170	71.9%	15,014	15.0%	3,694	3.7%	9,310	9.3%	157	0.2%	100,345
19	80,207	73.6%	15,108	13.9%	3,229	3.0%	9,200	8.4%	1,192	1.1%	108,937
20	81,805	72.9%	13,891	12.4%	5,568	5.0%	10,778	9.6%	165	0.1%	112,207
21	92,656	68.4%	18,109	13.4%	6,762	5.0%	17,705	13.1%	311	0.2%	135,543
22	101,560	69.5%	18,029	12.3%	7,579	5.2%	18,595	12.7%	323	0.2%	146,087
23	107,216	67.6%	21,538	13.6%	8,103	5.1%	21,576	13.6%	87	0.1%	158,520
24	115,338	64.0%	27,698	15.4%	8,708	4.8%	26,893	14.9%	1,623	0.9%	180,260
25	135,056	68.4%	24,101	12.2%	10,007	5.1%	25,902	13.1%	2,388	1.2%	197,454

【参考】

(5) 運用受託機関(平成25年度末現在)

運用手法別時価総額(平成25年度末)

(単位:百万円)

資 産	運用受託機関
国内債券(自家運用を除く。)	三井住友信託銀行株式会社
国内株式	
外国債券	
外国株式	
短期資産(自家運用を除く。)	

資 産	自家運用	外部運用	計
国内債券	58,877	76,179	135,056
国内株式	-	24,101	24,101
外国債券	-	10,007	10,007
外国株式	-	25,902	25,902
短期資産	2,275	113	2,388
合計	(31.0%) 61,152	(69.0%) 136,302	(100.0%) 197,454

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。